

入間市の花、木、鳥

(昭和56年4月制定)

市の花・・・「茶の花」

市の特産物である「狭山茶」を象徴するにふさわしい花である。茶の若葉の季節は春、茶の花は秋に咲く。



市の木・・・「ケヤキ」

市内に多く自生している木であり、落葉樹で新緑の季節、紅葉の季節には人々を楽しませ、夏には心地よい緑影と緑風を与える。



市の鳥・・・「ヒバリ」

武蔵野の空に舞う、のどかな感じのある鳥「ヒバリ」。毎年初夏になると、さえざりながら大空へ舞い上がる姿は、広く市民に親しまれている。



入間市の歌

(一)

風さわやかな 入間野に
茶園のみどり 輝いて
望みひろがる ふるさとよ
ああ 美しい 入間市に
住むしあわせを わけあおう

(二)

伸びゆくまちに 自治映えて
寄せ合う英知 結ぶ手に
若さみなぎる ふるさとよ
ああ 和やかな 入間市に
文化の花を 咲かせよう

(三)

秩父の峰を 仰ぎみる
けやきの空に 幸を呼び
夢もあふれる ふるさとよ
ああ 安らぎの 入間市を
豊かな愛で はぐくもう

いるま音頭

(一)

ハアー武蔵野の 深い緑の懐に
白い茶の花 香る里
愛の歩道を 二人で行けば
招く可愛い 揚げひばり ソレ
みんな輪になって 踊ろじやないか
いるま音頭で ソレソレ ヨーイトナ

(二)

ハアー秩父嶺を 遠く仰いで育んだ
瞳あかるい その笑顔
次の世代の郷土をになう
若い仲間が 手をむすぶ ソレ
みんな輪になって 踊ろじやないか
いるま音頭で ソレソレ ヨーイトナ

(三)

ハアー青空に 伸びるケヤキの梢には
夢が大きく ゆれている
今日も栄える 町並み染めて
恵み豊かな 陽が昇る ソレ
みんな輪になって 踊ろじやないか
いるま音頭で ソレソレ ヨーイトナ

(四)

ハアー入間川 心やすらぐ せせらぎは
いつも倅せ 唄ってる
古い歴史と 進んだ文化
現在と過去を つなぐ川 ソレ
みんな輪になって 踊ろじやないか
いるま音頭で ソレソレ ヨーイトナ